

名古屋 電炉筋は来週から順次炉休入りへ

(名古屋) 名古屋地区の鉄スクラップ市況は様子見横ばいで月下旬入りである。地区電炉筋は9日から購入価格をさらに500円方抑制してH2実勢値1万7,500~1万8,500円どころ中心としたあと、ここ2週間近く新たな動きは見せていない。

海外市況の底値感台頭に、為替が円高に振れていることもあり、輸出の引合い価格は500~1,000円見当の修正高も見られる。ただ、地区電炉は来週から順次炉休入りとなり、月末から来月上旬にかけては半数メーカーで炉休が実施されるため消費減となる。発生も夏枯れの時期を迎えて芳しくなく、業者間には集荷難の

声が強まっているが、需給関係の改善が進まないこともあり、業者筋ではなお出荷繰りへの姿勢を維持している。これが電炉筋の入荷を下支えする恰好にあり、足元は各社消費見合いの入荷を確保している。

輸出市場は為替の円安から韓国電炉の一部に値戻しが見られる一方で、東南アジア筋からの引合いも上向き気配(商社筋)にある模様であるが、時期的な面もあり、目先きなお不透明観の見方もあるため、当面は為替の動向を見守る展開ではとの見方が少なくない。

足元の湾岸港の集荷価格はH2FAS1万7,000円前後、新断は1万9,500円前後。

可鍛材相場は2週間横すべり 夏季減産期で需給緩和感

(名古屋) 可鍛材相場は様子見横ばい。扱い筋の仕切り値は、業者ヤード持ち込み(上物)2万1,000~2万2,000円、同(並物)1万9,000~2万円どころ。

可鍛材の荷動きは落ち着き気味である。熔断工場からの発生は厚板製品加工の受注減などでやや減少しており、業者筋への入荷は静かな動きとなっている。一方、鋳・可鍛メーカーの操業率は自動車関連では横ばいを維持しているが、工作機械、建設機械関連では

需要減により低調感が続いている。可鍛材は極厚物が荷余り状態となるなど、夏季減産期に入って需給は全体に緩和感が目立つ形にある。

指標となる電炉建値の断続的な値下げで、相場は5月後半から7月上旬までジリ下がり展開となり計8,000円方下押したが、ここ2週間は様子見気配が広がり、横ばい推移となっている。

19日の「第12回レアメタル資源再生技術研究会」に80人

(名古屋) レアメタル資源再生技術研究会は19日、名古屋市工業研究所で「第12回レアメタル資源再生技術研究会」を開き、およそ80人が参加した。

当日は、藤田豊久会長の開会挨拶に続き、物質・材料研究機構 原田幸明特命研究員の「EUのCircular Economyは我が国のリサイクル業界等にどう影響するか」、経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課 梅田英幸課長補佐の「資源効率・循環経済に関する動向と今後の政策展開」、石油天然ガス・金属鉱物資源機構 神谷太郎課長の「JOGMECのレアメタルリサイクル技術開発」、九州メタル産業 権藤正信社長の

「シュレッダー破砕物の高度選別」の4講演が行われた。この中で権藤氏は自社の事業内容を紹介し、「昔は売上の約7割が鉄だったが、近年自動車プレスの仕入れ価格が高くなり、他の売を増やしていかないと採算が合わない。非鉄相場が上がることを願っている」と語った。



九州メタル産業 権藤社長の講演模様

鉄資源リサイクルの適正加工処理工場

飛島工場1,250トングロ・東海工場1,000トングロ
鉄骨解体物・鉄筋ダンゴ・一般鉄屑
大物廃設備機械・ガス切断物
総合解体 一般建設業<とび・土木工事業>許可
愛知県(般-13)第63063号
産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物中間処理業(安定5品目)

株式会社 東洋商事

本社 東海市南柴田町ヲノ割457-14
工場 電話 052-604-0700 FAX 052-604-7187
飛島 海部郡飛島村竹之郷8-221
工場 電話 0567-55-1400 FAX 0567-55-1499

超大型ギロチン(3,000ト)稼働 大型母材積極買入

タンクローリー・ダンプボディー・ミキサー車
鉄筋ダンゴ・甲山プレス・大物建屋解体

昭栄金属 株式会社

一宮市丹陽町五日市場天上77
TEL 0586(76)3211番(代)